

IPS

早稲田大学
大学院
情報生産システム研究科

2026年4月および9月入学者向け

入学試験要項

修士課程／博士後期課程

推薦（協定校推薦以外）・一般・社会人入学試験

＜アドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシーについて＞

早稲田大学大学院情報生産システム研究科のアドミッション・ポリシー／カリキュラム・ポリシー／ディプロマ・ポリシーは本研究科Webページ (<https://www.waseda.jp/fsci/gips/about/policy/>) を参照してください。

やむを得ず入学試験の実施内容（出願期間・審査期間・試験日程／内容・合格発表日など）に変更が生じる場合があります。その際は、本研究科Webページ (<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/>) にてお知らせしますので、随時確認するようにしてください。なお出願開始後に何らかの変更が生じた場合は、志願者に対して、出願時に登録されたメールアドレスやオンライン出願システム「TA0」のメッセージで連絡することがありますので、出願後は随時確認するようにしてください。



早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

Contents

1 募集概要	1P
2 出願資格	2P
3 選考方法	3P
4 出願手続	3P
5 選考日時・場所	12P
6 合格者発表日時	13P
7 入学手続	13P
—在留資格「留学」の取得について	14P
—入国前結核スクリーニング（JPETS）に関する注意事	15P
8 奨学金制度	16P
その他	17P

入試要項を通読する前に必ずお読みください <出願にあたっての大事なポイント>

① 入試要項は最初から最後まで読んでください。

本入試要項記載事項と重複する質問には回答いたしません。

また、提出書類が十分でない場合、出願不可となる場合があります。

② 推薦状については、推薦者の方と事前に連絡を取り合って、作成をお願いしてください。

オンライン出願システム上で推薦者へ推薦状の作成依頼を行っていただく必要があります。

推薦者の方との連絡不十分により生じたトラブルについては、当研究科アドミッションズ・オフィスでは責任を負いません。

③ 出願フォームに入力を開始する前に、正しい「出願フォーム」を選択しているか、確認してください。

オンライン出願システム(TAO)の「出願フォーム」は、選択する「言語・入試区分」によって異なります。

④ 出願をする際は、入力事項・アップロードファイルに間違いがないか必ず確認してください。

オンライン出願システムはセクション毎に一時保存が可能です。出願を確定する前に必ず入力事項に間違いがないか、アップロードしたファイルは適切な内容のものか、最新のものか等よく確認してください。

提出後の差し替えはできません。

⑤ 出願締切日時までに、必ず出願を完了してください。

締切直前はサーバーが大変混み合い、提出に時間がかかることが予想されます。オンライン出願の際は、十分にご注意の上、余裕をもってご提出ください。（オンライン出願システム上の「出願を完了する」ボタンを押すことで出願が完了します。推薦者の推薦状提出を待つ必要はありません。）締切時間を過ぎると、出願の受け付けはできなくなります。尚、いかなる理由であっても出願期間外での提出は一切受け付けいたしませんのでご了承ください。

⑥ 出願後は、TAO のメッセージおよび出願時に登録した E メールアカウントを定期的に確認するようにしてください。

出願完了後、当研究科アドミッションズ・オフィスは必要に応じて TAO のメッセージおよび E メールにて連絡をする場合があります。志願者本人が確認をしなかったことで不利益が生じて、当研究科アドミッションズ・オフィスは責任を負いません。

⑦ 出願の際に提出いただいた書類・資料・情報等について、虚偽記載・剽窃等がないか当研究科アドミッションズ・オフィスにて厳格に確認しています。

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とします。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

1 募集の概要

情報生産システム工学専攻 修士課程・博士後期課程

○募集分野 情報アーキテクチャ分野、生産システム分野、集積システム分野

○募集人数 〈4月、9月入学の合計〉修士課程／200名、博士後期課程／20名

1 国内出願【修士課程・博士後期課程】

◎オンライン出願システム（TAO）からの出願は出願期間締切日の日本標準時間 23:59 までに完了してください。

（2026 年度 4 月入学）

	出願期間 (最終日必着)	試験日 (いずれか 1 日)	合格者発表	第一次入学手続期間 (最終日必着)	第二次入学手続期間
7 月実施入試	2025 年 6 月 2 日 (月) ～6 月 20 日 (金)	2025 年 7 月 11 日 (金) 2025 年 7 月 12 日 (土)	2025 年 7 月 18 日 (金)	2025 年 10 月 1 日 (水) ～10 月 15 日 (水)	2026 年 2 月中旬
11 月実施入試	2025 年 9 月 29 日 (月) ～10 月 10 日 (金)	2025 年 11 月 14 日 (金) 2025 年 11 月 15 日 (土)	2025 年 11 月 28 日 (金)	2025 年 11 月 28 日 (金) ～12 月 12 日 (金)	
入試区分	推薦入試・一般入試・社会人入試				
選考方法	書類選考・面接諮問				

（2026 年度 9 月入学）

	出願期間 (最終日必着)	試験日 (いずれか 1 日)	合格者発表	第一次入学手続期間 (最終日必着)	第二次入学手続期間
11 月実施入試	2025 年 9 月 29 日 (月) ～10 月 10 日 (金)	2025 年 11 月 14 日 (金) 2025 年 11 月 15 日 (土)	2025 年 11 月 28 日 (金)	2026 年 4 月 1 日 (水) ～4 月 15 日 (水)	2026 年 8 月中旬
7 月実施入試	2026 年 5 月 25 日 (月) ～6 月 5 日 (金)	2026 年 7 月 10 日 (金) 2026 年 7 月 11 日 (土)	2026 年 7 月 24 日 (金)	2026 年 7 月 24 日 (金) ～7 月 31 日 (金)	
入試区分	推薦入試・一般入試・社会人入試				
選考方法	書類選考・面接諮問				

2 国外出願【修士課程・博士後期課程】

◎オンライン出願システム（TAO）からの出願は出願期間締切日の日本標準時間 23:59 までに完了してください。

（2026 年度 4 月入学）

	出願期間 (最終日必着)	合格者発表	第一次入学手続期間 (最終日必着)	第二次入学手続期間
7 月実施入試	2025 年 6 月 2 日 (月) ～6 月 20 日 (金)	2025 年 7 月 18 日 (金)	2025 年 10 月 1 日 (水) ～10 月 15 日 (水)	2026 年 2 月中旬
11 月実施入試	2025 年 9 月 29 日 (月) ～10 月 10 日 (金)	2025 年 11 月 28 日 (金)	2025 年 11 月 28 日 (金) ～12 月 12 日 (金)	
入試区分	推薦入試・一般入試・社会人入試			
選考方法	書類選考			

（2026 年度 9 月入学）

	出願期間 (最終日必着)	合格者発表	第一次入学手続期間 (最終日必着)	第二次入学手続期間
2月実施入試	2025年12月8日(月) ～12月19日(金)	2026年2月20日(金)	2026年4月1日(水) ～4月15日(水)	2026年 8月中旬
6月実施入試	2026年4月13日(月) ～4月24日(金)	2026年6月5日(金)	2026年6月8日(月) ～6月19日(金)	
入試区分	推薦入試・一般入試・社会人入試			
選考方法	書類選考			

※当研究科は、日本国内国外を問わず、留学あっせん業者等とは一切提携しておりません。

変更点：

2026 年度入試より、入学試験の回数に変更されます。

国外出願の 12 月実施入試、およびの国内出願の 2 月実施入試（※）は廃止されます。

※国内協定校（高専）推薦入試および学内推薦入試を除く。

情報アーキテクチャ分野	スマートインダストリー研究室	藤村 茂
	ニューロコンピューティング研究室	古月 敬之
	データ工学研究室	岩井原 瑞穂
	イメージメディア研究室	鎌田 清一郎
	バイオ情報センシング研究室	亀岡 遵
	用例翻訳・言語処理研究室	ルバージュ イヴ
	バイオ・ロボティクス & ヒューマン・メカトロニクス研究室	松丸 隆文
生産システム分野	コミュニティ・コンピューティング研究室	吉江 修
	設計工学システム研究室	荒川 雅生
	移動ロボティクス・プラットフォーム研究室	橋本 健二
	マイクロナノ流体デバイス研究室	馬渡 和真
	先端バイオエレクトロニクス研究室	三宅 丈雄
	機械システム設計研究室	田中 英一郎
	生産プロセス工学研究室	立野 繁之
	薄膜機能材料研究室	植田 研二
集積システム分野	半導体デバイス材料工学研究室	志村 考功
	生体医工学研究室	高橋 淳子
	マイクロ電気機械システム研究室	池橋 民雄
	画像情報システム研究室	池永 剛
	高位検証技術研究室	木村 晋二
	グリーン集積システム研究室	丹沢 徹
	集積システム最適化研究室	山崎 慎太郎
	無線通信回路技術研究室 (*)	吉増 敏彦
	発光システム研究室	碓塚 孝明
	光電子集積システム研究室	高畑 清人
	テラヘルツ集積システム研究室	芹田 和則

*2026年度4月入学修士課程のみ募集

2 出願資格

以下のいずれかの要件を満たしていることを必須とします。

1 修士課程

- 大学を卒業した者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに卒業見込みの者
- 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに授与される見込みのある者
- 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに修了見込みの者
- 外国の大学やその他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに授与される見込みのある者
- 文部科学大臣の指定した者
- 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- 当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに22歳に達する者

※ a と f の「大学」は日本の文部科学省に認可された大学を指します。
 ※ 「外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16年目の課程」を修了した者」という意味です。16年間教育を受けたかではなく、「16年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。
 ※ 初等～高等教育までの正規の課程の年数が16年未満の国の課程を修了した方、または上記f, gに該当するかどうかについては、出願期間開始前までに当研究科アドミッションズ・オフィスにお問い合わせの上、入学願書（様式1）と学力や業績を証明する資料（卒業証明書、成績証明書、経歴書、研究業績書、特許など）を送付してください。
 ※ 中国の大学の専科（3年制）の卒業生には出願資格はありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

2 博士後期課程

- 修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに修得見込みの者
- 外国において修士もしくは修士（専門職）の学位またはこれに相当する学位を得た者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに修得見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者
- 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに修得見込みの者
- 当研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、4月入学の場合は2026年3月31日までに、9月入学の場合は2026年9月20日までに24歳に達する者（博士5年一貫コースの前半2年を修了した者を含む）。

※ a は日本において得た、または取得見込の学位を指します。
 ※ e に該当するかどうかについては、出願期間開始前までに当研究科アドミッションズ・オフィスにお問い合わせの上、入学願書（様式1）と学力や業績を証明する資料（卒業証明書、成績証明書、経歴書、研究業績書、特許など）を送付してください。

本大学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本大学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

【入試区分】

1 修士課程

推薦入試	・卒業論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。
一般入試	—
社会人入試	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在籍していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。

※修士課程志願者は事前に指導希望教員と連絡を取る必要はありません。

2 博士後期課程

推薦入試	・修士論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。
一般入試	—
社会人入試	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在籍していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。

※博士後期課程志願者は事前に指導希望教員と連絡を取り、受入の承諾を得てから出願してください。

3 選考方法

IPS では、下記3つの入試区分を設け、書類審査、面接試問を行い、専門知識の他、学習意欲と問題意識を重視して、可否を判定します。

【選考方法】

区分	選考方法	
	書類審査	面接試問
推薦入試	●	●
一般入試	●	●
社会人入試	●	●

※国外出願は、面接試問を行わず、原則として書類審査のみとします。

4 出願手続

入学検定料の支払いと出願書類の提出・受理、およびオンライン出願システムTAOでの出願完了をもって出願が完了します。出願書類やTAOの入力情報等に不備があった場合は出願が受理されないことがあります。入学時期ごとに指定された出願期間内に書類が到着するように、またTAOでの出願を完了するよう注意してください。
P. 6-11 出願上の注意と提出書類を確認してください。

〈注意〉一度提出した書類および納入した検定料は原則として返還できません。書類についてはコピーをお渡しすることもできません。

1 出願方法

出願方法には、『国内出願』と『国外出願』があります。出願は、4月入学または9月入学、『国内出願』または『国外出願』のいずれかひとつとし、同時に複数の時期および方法での出願はできません。

● **国内出願** 志願者の国籍にかかわらず、日本国内に居住している者が日本国内から願書を提出する方法。

● **国外出願** 志願者の国籍にかかわらず、日本国外に居住している者が日本国外から願書を提出する方法。

※日本国籍を有する志願者が『国外出願』する場合は、国外居住を証明する書類の提出が必要となります。

※国外出願者の申請書類が日本国内から郵送された場合は受付不可となりますので、十分に注意してください。

2 入学検定料の振込方法

■日本国内で送金する場合（国内出願）

※検定料：国内出願 35,000 円

以下の振込方法のうち、いずれかを選んで振り込んでください。振込期間外の検定料納入は認めません。

①コンビニエンスストアでのお支払いの場合

- ・入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharainet/>)にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ・支払い終了後、出願者の氏名、支払日、支払金額を含んだ『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」の画像写真を撮り、オンライン出願システム（TAO）の該当欄にアップロードしてください。支払い方法の詳細は、下記URLより「早稲田大学コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照してください。
- ・支払は、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です（納入最終日は「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります）。

※家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず出願者本人の情報を入力するようにしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に本研究科まで連絡してください。

【早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法】

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/assets/uploads/2025/04/a5456ea30e37c5a1a8d9d5a277b1e8d8.pdf>

②クレジットカード・中国オンライン決済の場合

- ・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharainet/card/>)にアクセスして所定申込手続を完了させる必要があります。
- ・支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「申込内容照会結果」の画像データを保存しオンライン出願システム（TAO）の該当欄にアップロードしてください。支払い方法の詳細は、下記URLより「早稲田大学クレジットカード・銀聯カードでの検定料払込方法」を参照してください。

【早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法】

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/assets/uploads/2025/04/f8b39e7941b01439e56e79d9c3378010.pdf>

e-shiharainet のカテゴリ選択では、以下のとおり選択してください。

第一選択	情報生産システム研究科
第二選択	2026 年 4 月入学（例）
第三選択	次の第四選択へ進んでください
第四選択	修士課程・博士後期課程（7 月入試）4 月入学 35,000 円（例）

※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。（納入期間最終日は、日本時間23:00までにカード決済を完了させてください）※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続する場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

入学時期	納入期間
2026 年 4 月	7 月実施入試 2025 年 5 月 26 日（月）～ 6 月 20 日（金）
	11 月実施入試 2025 年 9 月 22 日（月）～ 10 月 10 日（金）
2026 年 9 月	11 月実施入試 2025 年 9 月 22 日（月）～ 10 月 10 日（金）
	7 月実施入試 2026 年 5 月 18 日（月）～ 6 月 5 日（金）

出願書類および入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は原則として、返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合には、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は本研究科事務所（Email: koho-ips@list.waseda.jp）までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った
 - 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった
 - 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に書類を提出した
 - 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった
- なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

■日本国外から送金する場合（国外出願）

※検定料：国外出願 15,000 円

以下の振込方法のうち、いずれかを選んで振り込んでください。振込期間外の検定料納入は認めません。

① 銀行振込の場合

金融機関で入学検定料 15,000 円に円為替手数料 2,500 円を加算した額面 17,500 円を、次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。（現地金融機関において、別途振込銀行手数料がかかる場合や、第三の金融機関を経由する際の手数料は、17,500 円とは別に窓口で支払ってください。）また、外国送金依頼書をPDF形式でオンライン出願システム（TAO）へアップロードしてください。

送金種類 (Type)	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法 (Payment method)	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料 (Bank Transfer Fee)	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料 (Lifting Charge)	受取人負担 (Payee's Account)
送金金額 (Amount)	17,500 円（入学検定料 15,000 円＋手数料 2,500 円）
送金目的 (Purpose)	入学検定料 (Screening Fee)
連絡事項 (Message)	志願者本人の英字氏名 (Applicant's name in English)
銀行名 (Bank name)	三菱 UFJ 銀行 (MUFG Bank, Ltd.)
支店名 (Branch)	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号 (Account number)	0035967FKK（口座番号は数字 7 文字とアルファベット 3 文字です）
受取人 (Beneficiary)	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所 (Bank address)	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-7 (3-7, Kagurazaka Shinjuku-ku Tokyo 1620825, Japan)
スウィフトコード (Swift code)	BOTKJPJT

◎送金の際、送金目的を**入学検定料**とし、連絡事項に**志願者本人の名前**を必ず記入してください。

《注意》現金・小切手等による入学検定料の送金は認められません。また送金の際は、他の志願者分と合算して振り込まないでください。

◎口座番号「0035967FKK」の前後にアルファベット（"ORDINARY DEPOSIT"や"A/C No."）を記載しないようお願い致します。

②クレジットカード・中国オンライン決済の場合

・クレジットカードおよび中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等よりインターネット上の支払サイト (<https://e-shiharai.net/card/>) にアクセスして所定申込手続を完了させる必要があります。詳細は 下記URLより「早稲田大学クレジットカード・銀聯カードでの検定料払込方法」を確認してください。e-shiharai.netのカテゴリ選択では、以下のとおり選択してください。

【早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法】

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/assets/uploads/2025/04/f8b39e7941b01439e56e79d9c3378010.pdf>

第一選択	情報生産システム研究科
第二選択	2026 年 9 月入学（例）
第三選択	修士課程・博士後期課程
第四選択	6 月入試 国外出願 15,000 円（例）

・支払い終了後、決済完了が表示された Web ページをPDF形式でオンライン出願システム（TAO）へアップロードしてください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です。（振込期間最終日は、日本時間23:00までにカード決済を完了させてください）

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続する場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

入学時期	振込期間
2026 年 4 月	7 月実施入試 2025 年 5 月 26 日（月）～ 6 月 20 日（金） 11 月実施入試 2025 年 9 月 22 日（月）～ 10 月 10 日（金）
2026 年 9 月	2 月実施入試 2025 年 12 月 1 日（月）～ 12 月 19 日（金） 6 月実施入試 2026 年 4 月 6 日（月）～ 4 月 24 日（金）

出願書類および入学検定料の返還について

一度提出した書類および納入した入学検定料は原則として、返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科事務所（E-mail:koho-ips@list.waseda.jp）までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

●入学検定料免除

次のいずれかに該当する場合は、入学検定料が免除となります。詳細は当研究科事務所までお問い合わせください。

- ・本大学大学院修士課程または専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）修了者が、修士課程等修了と同時に、修了した研究科と同一の学術院に属する研究科の博士後期課程に入学を志願する場合。
- ・修士課程等修了者が、引続き次年度に修了した研究科と同一の学術院に属する研究科の一般科目等履修生となり、その後引続き修了した研究科と同一の学術院に属する研究科の博士後期課程に入学を志願する場合。ただし、修士課程等入学後4年以内に入学を志願する場合に限ります。

●特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度

以下の1. に掲げる条件に合致する志願者は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

1. 適用条件

下記の対象国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者。

*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

*重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

2. 免除申請手続

出願書類として提出を求めている入学検定料支払証明書の代わりに以下の書類を提出してください。

1) 検定料免除措置申請書（[所定様式](#)）

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

3. 注意

1) 出願期間終了後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

2) 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。誤って支払ってしまった場合、入学検定料の返還は行いませんのでご注意ください。

3) 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

【対象国】

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

*OECD/DACが発行するODA受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国

3 出願上の注意と提出書類

当研究科は、オンライン出願システム「The Admissions Office (TAO)」を使用します。

(The Admissions Office <https://admissions-office.net/>)

TAOからの出願は出願期間締切日の日本標準時間23:59までに完了してください。「**出願を完了する**」ボタンを押すことで出願が完了します。出願締切を過ぎてTAO上で「出願中」のステータスのままになっているものについては受け付けません。TAO上で「出願状況」が「出願完了」になっていること、入学検定料の支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。締切後の出願はいかなる場合も受け付けません。

出願手順は以下のとおりです。

入試要項を確認の上、出願書類のダウンロード・準備、および郵送が必要な書類の準備・送付



入学検定料支払い



オンライン出願用のアカウント作成

「The Admissions Office (TAO)」<https://admissions-office.net/ja/portal> より「会員登録」を行ってください。



TAOシステムおよび入試要項に従って、推薦書の手配（推薦入試の場合）、入力・アップロード

・出願書類は、日本語または英語で志願者本人が作成してください。

・郵送が必要な書類全てをまき封入し、

国内出願の場合：郵便局から「簡易書留郵便」で郵送してください。封筒の表面に**出願書類在中**と朱書してください。

国外出願の場合：追跡できる最も速い方法で送ってください。

送付先：〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所内 アドミッションズ・オフィス宛

TEL:093-692-5017

※出願書類受領連絡等はいきませんので、出願者が郵便追跡サービスを利用して確認してください。

国内出願

提出書類

提出方法	出願書類		推薦入試	一般入試	社会人入試
オンライン	①	志願者情報、学歴・職歴、成績、言語能力	○	○	○
オンライン	②	研究計画書【様式2】（所定フォームを研究科 Web ページから ダウンロード してください。）	○	○	○
オンライン	③	推薦書【様式3 (A), (C) のいずれか】 （オンライン出願システム「TAO」から推薦者へ依頼してください。）	○	—	○（推薦書または自己推薦書のいずれか）
		自己推薦書【様式3 (D)】	—	—	
オンライン	④	卒業研究・修士論文等の報告書【様式4 (A)】、業績報告書【様式4 (B)】のいずれか （所定フォームを研究科 Web ページから ダウンロード してください。）	○	○	○ （業績報告書）
オンライン	⑤	検定料振込証明書	○	○	○
オンライン	⑥	カラー写真	○	○	○
原本郵送	⑦	出願書類チェックリスト	○	○	○
原本郵送	⑧	卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、学位証明書の原本	○	○	○
原本郵送	⑨	成績証明書（学部以上全部）	○	○	○
原本郵送	⑩	英語能力の証明書（必須）TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS Academic、実用英語技能検定（英検）のいずれか 日本語能力の証明書（資格保有者のみ）	○	○	○
提出方法	出願書類		日本国籍	日本国籍以外	
オンライン	⑪	在留カードまたは特別永住者証明書の両面コピー（既に日本における在留資格を所有している国内出願の外国人志願者のみ）	—	○	

※各提出書類の詳細についてはP.8以降をご確認ください。

■国外出願

提出書類

提出方法	出願書類		推薦入試	一般入試	社会人入試
オンライン	①	志願者情報、学歴・職歴、成績、言語能力	○	○	○
オンライン	②	研究計画書【様式2】（所定フォームを研究科 Web サイトから ダウンロード してください。）	○	○	○
オンライン	③	推薦書【様式3 (A), (C) のいずれか】 （オンライン出願システム「TAO」から推薦者へ依頼してください。）	○	—	○（推薦書または自己推薦書のいずれか）
		自己推薦書【様式3 (D)】	—	—	
オンライン	④	卒業研究・修士論文等の報告書【様式4 (A)】、業績報告書【様式4 (B)】のいずれか （所定フォームを研究科 Web サイトから ダウンロード してください。）	○	○	○ （業績報告書）
オンライン	⑤	検定料振込証明書	○	○	○
オンライン	⑥	カラー写真	○	○	○
原本郵送	⑦	出願書類チェックリスト	○	○	○
原本郵送	⑧	卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、学位証明書の原本（日本語もしくは英語で記載されたもの）	○	○	○
原本郵送	⑨	成績証明書（学部以上全部）	○	○	○
原本郵送	⑩	英語能力の証明書（必須）TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS Academic、実用英語技能検定（英検）のいずれか 日本語能力の証明書（資格保有者のみ）	○	○	○
提出方法	出願書類		日本国籍	日本国籍以外	
オンライン	⑫	パスポートのコピー	—	○	

※各提出書類の詳細についてはP.8以降をご確認ください。

・日本国籍を有する志願者が国外出願をする場合は、次の書類も提出してください。

提出方法	出願書類		日本国籍	日本国籍以外
原本郵送	⑬	国外居住証明書	○	—

- ・出願書類は一切返却できません。次ページの提出書類ではないものを提出された場合もその書類は返却できません。特に提出物に知的所有権を第三者が所有している等のケースについては、提出後に問題が生じないように事前に解決願います。なお、一度提出した書類のコピーもできません。
- ・出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・提出書類中の推薦書および各種証明書は、発行元や公的機関に提供して内容を照会することがあります。出願にあたり、その旨を事前にご了承ください。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、出願を受理できないことがあるので十分に注意してください。また当研究科から連絡があった場合は速やかにその指示に従ってください。
- ・出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

⑥ カラー写真 ●オンライン提出

- ・出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ4：ヨコ3の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。
- ・マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。
- ・顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。
- ・顔写真には加工・修正を施さないでください。
- ・スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真機（スピード写真可）で撮影してください。
- ・入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。

⑦ 出願書類チェックリスト ◆原本提出

所定フォームを研究科Webサイトからダウンロードし、郵送が必要な他の出願書類とともに必ず提出してください。

なお、出願方法（国内出願／国外出願）によって様式が異なりますので、ご注意ください。

⑧ 卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書、学位（取得見込）証明書 ◆原本提出

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

本学、本学以外の日本の大学、中国本土を除く海外大学の出身者 原本のみ可（コピー不可）/日本語もしくは英語【返却不可】

下表にて必要な証明書を確認し、各証明書の原本を提出してください。

博士後期課程志願者は大学学部・大学院両方の各証明書を提出してください。

出身大学	在学区分	出願課程	必要な証明書
・本学 ・本学以外の日本の大学 ・中国本土を除く海外の大学	卒業生	修士課程	・卒業証明書 ・学位取得証明書（卒業証明書に学位記載がある場合は不要）
		博士後期課程	・学部卒業証明書 ・修士課程修了証明書 ・学部学位取得証明書（卒業証明書に学位記載がある場合は不要） ・修士学位取得証明書（卒業証明書に学位記載がある場合は不要）
	在学生	修士課程	・卒業見込証明書
		博士後期課程	・学部卒業証明書 ・修士課程修了見込証明書 ・学部学位取得証明書（卒業証明書に学位記載がある場合は不要）

※成績証明書に「取得学位名」「学位取得日」が記載されている場合は、卒業証明関連の書類を提出いただく必要はありません。また、卒業（修了）証明書と成績証明書が同一となっている証明書（成績・卒業証明書等）は両書類の代替とできます。

※原本のみ可（コピー不可）。各証明書の原本を提出できない場合は、代替として、各証明書のコピーに大学印が直接押印された書類は可とします。

※在学中の場合で、卒業見込証明書が発行されない場合、在学証明書を提出してください。

※中国本土の大学卒業（見込）者は上記の証明書の提出は不要です。

※本学発行の各種証明書を提出する場合、紙媒体の証明書（原本）を提出してください。デジタル証明書の提出は認めません。

- ・再発行可能な卒業（修了）証明書（Certificate of Graduation）を提出してください。再発行されない「卒業（修了）証書」や「学位記/Diploma」を提出しないでください。
- ・学士・修士・博士等の複数の学位課程に在籍されたことがある場合は、「全て」の課程の卒業/修了（見込）証明書または在学証明書を提出してください。
- ・卒業（修了）見込証明書は卒業（修了）見込日が記載されているものを提出してください。
- ・改姓等により出願書類と証明書の氏名が異なる場合は、改姓等の事実が確認できる戸籍抄本等の公的機関が発行した証明書も提出してください。

中国本土の大学出身者 CSSDから本研究科事務所への直送のみ可/英語のみ可/中国語不可【返却不可】

下表にて必要な証明書を確認し、各証明書の直送手配を行ってください。

博士後期課程志願者は大学学部・大学院両方の各証明書を提出してください。

出身大学	在学区分	必要な証明書
・中国本土の大学	卒業生	以下2点 ・ Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate ・ Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate
	在学生	以下1点 ・ Online Verification Report of Student Record

- ・中国本土（香港・台湾・マカオを除く）の大学（学部・大学院）を卒業（修了）した者は提出してください。
- ・CSSD(CHESICC)から直送された英語版のみ受理します。CSSD (CHESICC)から本研究科事務所 (koho-ips@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。詳細はCSSD (CHESICC) のWebページ (<https://www.chsi.com.cn/en/>) で確認してください。
- ・必ず出願期間締切日までに当研究科へ届くよう、余裕を持って準備してください。出願者本人が受領し、本研究科事務所へ転送したものは受けません。
- ・本研究科事務所から志願者への証明書受領通知は行いません。
- ・学士・修士・博士等の複数の学位課程に在籍されたことがある場合は、「全て」の課程のものを提出してください。
- ・卒業(見込)証明書・学位証明書原本のコピーは提出不要です。
- ・中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも通常の課程による16年の学校教育を修了していれば修士課程の出願資格はあります。
- ・出願時において中国本土の大学（学部・大学院）を卒業（修了）見込者は、合格後、入学手続時には、以下の提出が必要となります。
 - Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate（英語のみ可）
 - Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate（英語のみ可）

⑨ 成績証明書 ◆原本提出

下表を確認の上、必要な「全て」の成績証明書をご提出ください。学士・修士・博士等の複数の学位課程に在籍されたことがある場合は、それぞれの課程の証明書をご提出ください。

学歴状況	必要な成績証明書 コピー不可/日本語または英語【返却不可】
大学学部卒業生	卒業時の成績証明書を提出してください。
大学学部在籍生（卒業見込者）	最新の成績証明書を提出してください。
大学学部卒業後、大学院を修了した方または、大学院在学中の方	大学学部と大学院両方の成績証明書を提出してください。
大学学部・大学院在籍時に留学をした方	留学中に取得した単位を卒業単位に算入したが、出身大学発行の成績証明書に留学時に取得した科目名およびその成績が記載されていない場合は、留学先機関発行の成績証明書を提出してください。
編入学をした方	編入前と編入後、両方の成績証明書を提出してください。

- ・全てのページに志願者氏名の記載および直接押印された大学印（印刷された印は不可）が必要です。学部以上在学中の全学年を含む全ての成績証明（原本）を提出のこと。
- ・発行日付が記載されたものを提出してください。
- ・中国本土の大学出身者は、CSSD(CHESICC)発行の“Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript”の提出も認めます。CSSD(CHESICC) から本研究科事務所 (koho-ips@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。詳細はCSSD(CHESICC) Webサイト (<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>) で確認してください。
- ・各証明書の原本を提出できない場合は、代替として、各証明書のコピーに大学印が直接押印された書類は可とします。証明書が複数ページにわたる場合は、すべてのページに大学印が必要です。
- ・証明書のコピー（大学印が直接押印されていないもの）ならびに公証書での提出は認めません。

⑩ 語学能力の証明書 ◆原本提出または直送手配

英語外部試験のスコアレポート【返却不可】

出願受付開始日から**2年以内**に受験した以下のいずれかの英語外部試験スコアレポートを提出してください。点数の制限はありません。

- ※英語を第一公用語とする国の出身者は英語能力の証明書の提出は必要ありません。
- ※英語を第一公用語とする国の教育課程を卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの場合は英語能力の証明書提出は免除されます。
- ※指導媒体が英語である教育課程（英語を第一公用語とする国の教育課程を除く）を卒業（修了）した者は、公式の英語外部試験スコアレポートを提出するか、出身校での指導媒体が英語であることを証明する大学発行の公式文書を提出してください。
- ※指導媒体が英語である教育課程（英語を第一公用語とする国の教育課程を除く）を卒業（修了）見込みの場合は、入学日の前日（9月20日または3月31日）までに当該大学の英語学位プログラムで学位を取得したことを証明する大学発行の公的証明書を同封してください。

対象となる英語外部試験	提出方法
TOEIC L&R	【日本国内でTOEICを受験した方】 ※通常、デジタル公式認定証は試験日から19日後に発行可能となります。出願期日に間に合うTOEICの試験日程をよくご確認ください。 以下、2つを出願期日までに完了していること。 ① TOEIC申込サイトトップページの「テスト結果」の右下にある「大学・企業等へのスコア提出」をクリックし、提出先団体選択で申請コード”00019706”（早稲田大学大学院情報生産システム研究科）を入力し、提出する公開テストのスコアを選択の上、提出。※提出方法の詳細は以下を参照すること。 https://www.iibc-global.org/toeic/test/lr/guide04/score2.html ② 「TOEIC 申込サイトよりダウンロード可能なデジタル公式認定証のPDFを印刷したもの」を、他の出願書類と合わせて提出。 【日本以外の国でTOEICを受験した方】 TOEICのOfficial Score Certificate（公式認定証）の原本を他の出願書類と合わせて出願期日までに提出。書類は返却しません。

TOEFL iBT	※TOEFL iBTを受験後、必ずETSから早稲田大学へOfficial Score Reportの直送手配を行ってください。 以下3つを出願期日までに完了していること。 ① Test Taker Score Report (ETSアカウントの個人ページよりダウンロード可能なPDFを印刷したもの) を他の出願書類と合わせて出願期日までに提出。 ② Official Score Report (公式スコアレポート) の大学への直送手配を行う。 その際、Institution (DI) code "C804"、Department code は選択自由。該当するものが無い場合は“99”を選択。 ③ 大学への直送手配を行った事がわかる画面のスクリーンショットを印刷して他の出願書類と合わせて出願期日までに提出。 ※Test Taker Score Report を出願期日までに提出していれば、Official Score Report が出願期間外に到着したとしても出願は認められます。 ※「TOEFL iBT Home Edition」は不可。 ※「MyBest Scores」は採用しません。
IELTS Academic	※IELTS Academicを受験後、早稲田大学へスコアデータの直送手配を行ってください。 以下3つを出願期日までに完了していること。 ①Test Report Form (コピー可) を他の出願書類と合わせて出願期日までに提出。 ②スコアデータの大学への直送手配を行う。直送先は以下のとおり指定。 (1)Institution : Waseda University - Graduate School of Information, Production and Systems (IPS) (2)Department : IPS Office (3)Address : 2-7 Hibikino, Wakamatsu-ku, Kitakyushu, Fukuoka 808-0135 (4)Delivery Method : Electronic Score Delivery ※ (3) は、電子送付のため原則不要ですが、試験団体の指示により入力必須となっている場合のみ入力してください。 ※ (4) は、テストセンターにより「備考欄」への記載となる場合があります。 ③大学への直送手配を行った事がわかる画面のスクリーンショットを印刷して他の出願書類と合わせて出願期日までに提出。 ※対象スコアは Overall Band Score。 ※「IELTS Online」は不可。 ※「IELTS One Skill Retake」は不可。
実用英語技能検定 (英検)	日本英語検定協会から当研究科へテスト結果が直送されるよう、手配を行ってください。

※各英語外部試験の実施状況、実施日およびスコアレポート取得可能日等について、ご自身でよくご確認の上、余裕を持って受験するようにしてください。

※上記に該当しない英語外部試験のスコアレポートを提出した場合は出願が無効となります。TOEIC IP、TOEIC S&W、TOEIC Bridge、TOEFL ITP、TOEFL PBT、IELTS General Training 等のスコアレポートは提出できませんので、ご注意ください。

※自宅受験が可能な試験 (TOEFL iBT Home Edition, TOEFL iBT Paper Edition, IELTS Online 等) は受理できませんので、ご注意ください。

日本語能力に関する証明書 有資格者のみ【返却不可】

日本語能力に関する証明書をお持ちの場合は以下を提出してください。有効期限および点数の制限はありません。

- ・日本語能力試験 (JLPT) : 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 (JAPANESE-LANGUAGE PROFICIENCY TEST CERTIFICATE OF RESULT AND SCORES) を当研究科へ直送するようテスト実施団体へ依頼してください。受験したテスト結果しかお持ちでない場合は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書原本を郵送してください。
- ・日本語能力認定書 (CERTIFICATE JAPANESE-LANGUAGE PROFICIENCY) は日本語能力に関する証明書として受理できませんので、ご注意ください。

⑪ 在留カードまたは特別永住者証明書の両面コピー (既に日本における在留資格を所有している国内出願の外国人志願者のみ) ●オンライン提出

日本国籍を持たない国内志願者は「在留カード」または「特別永住者証明書」の両面のコピーをアップロードしてください。いずれも有していない場合は、志願者の顔写真と在留資格等の個人情報を含むパスポートのページのコピーを、在留期間を更新中の場合は、更新手続き中であることを証明する書類をアップロードしてください。

⑫ パスポートのコピー (国外出願者のみ) ●オンライン提出

未取得者および申請中の場合は、取得次第すぐにTAOのメッセージで提出してください。

⑬ 国外居住証明書 (国外から出願する日本人志願者のみ) ◆原本提出

「国外に居住していること」、「国外の教育機関等に在籍していること」、または「国外の企業等に在籍していること」のいずれか一つを証明する書類で在留期間が証明されているものを提出してください。

【研究計画書および論文報告書等の作成に関する注意事項】

研究計画書、論文報告書等は、志望する本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

4 受験番号の発行

出願書類のすべてが提出され、出願が受理された志願者に対し、試験日の一週間前を目処にTAO 上において受験番号を発行します。TAOの出願画面で確認できます。受験番号はTAO出願IDではありません。書類やTAOに入力された情報等に不備がある場合は、その不備状況が解消されるまでは、受験番号は発行されませんので、注意してください。
合格者発表日の7日前になっても受領していない場合は、当研究科事務所に連絡してください。
※受験票は、合格後、入学手続から学生証の交付まで必要になりますので、予め TAO から印刷したうえで大切に保管してください。

入学時期	出願期間	受験番号発行予定日
2026年度 4月入学	7月実施入試	2025年 7月4日
	11月実施入試	2025年 11月7日
2026年度 9月入学	2月実施入試	2026年 1月30日
	6月実施入試	2026年 5月22日

5 選考日時・場所

1 国内出願

	7月実施入試	11月実施入試	7月実施入試
入学時期	2026 年 4 月		2026 年 9 月
入試区分	推薦入試・一般入試・社会人入試		
※1 試験日	2025 年 7 月 11 日 (金) 2025 年 7 月 12 日 (土)	2025 年 11 月 14 日 (金) 2025 年 11 月 15 日 (土)	2026 年 7 月 10 日 (金) 2026 年 7 月 11 日 (土)
	上記試験日のうち、当研究科が指定する1日 ※東京会場を希望する場合、試験日は土曜日になります。		
時 間	午前もしくは午後の部		
※2 場 所	北九州会場／早稲田大学大学院情報生産システム研究科（北九州キャンパス） 東京会場／早稲田大学理工学術院（西早稲田キャンパス）		

- ※1 試験日時は、TAOまたはEメールにて受験者に連絡しますので必ず確認してください。
※2 希望する会場について、入学願書（様式1）で選択してください。試験日、時間は当研究科が指定します。変更の希望は受け付けません。

2 国外出願

国外出願は面接試験を行わず、原則として書類選考のみとします。

入学試験受験に際しての注意事項

<不正行為について>

- 本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。
本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。
- 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
 - 次のことをすると不正行為となることがあります。
 - カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
 - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - 試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
 - 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
 - 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - 別室または別席での受験を求めること。
 - 本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消となることがあります。

以 上

※この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

6

合格者発表日時

P1 記載の合格者発表日の日本時間午前 10 時に、当研究科ウェブサイト (<https://www.waseda.jp/fsci/gips/>) に合格者の受験番号を掲載します。

また、合格者には入学手続に関するご案内を送付します。

※可否結果の理由や選考の詳細については、電話、E メール、対面等による照会には一切お答えできません。ご了承ください。

7

入学手続

入学手続書類は、郵送で提出してください。

入学手続期間最終日までに必要書類が必着していなければ受け付けられません。

所定の期間内に入学手続料（入学金・学費・諸会費）の納入、入学手続書類提出、Web 入学手続の全てを完了することにより、入学手続が完了します。

1 入学手続書類の交付

合格者には、合格者発表日に入学手続に関するご案内を送付します。

2 第 1 次入学手続期間・場所

	国内出願 入学手続日時	国外出願 入学手続日時
郵 送	〈2026 年 4 月入学〉 ○ 7 月実施入試 2025 年 10 月 15 日(水)必着 ○11 月実施入試 2025 年 12 月 12 日(金)必着	〈2026 年 4 月入学〉 ○ 7 月実施入試 2025 年 10 月 15 日(水)必着 ○11 月実施入試 2025 年 12 月 12 日(金)必着
	〈2026 年 9 月入学〉 ○11 月実施入試 2026 年 4 月 15 日(水)必着 ○ 7 月実施入試 2026 年 7 月 31 日(金)必着	〈2026 年 9 月入学〉 ○ 2 月実施入試 2026 年 4 月 15 日(水)必着 ○ 6 月実施入試 2026 年 6 月 19 日(金)必着
手続書類送付住所	〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-7 早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所 入学手続係 宛	

※第 2 次入学手続の案内は、4 月入学の場合 2026 年 2 月上旬頃、9 月入学の場合 2026 年 8 月上旬頃に送付します。

3 2026 年度入学者の学費について

① 修士課程

(単位:円)

入学時期	年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
				授業料	実験演習料	学生健康増進 互助会費	
4 月入学	初年度	入学時	300,000	581,000	25,000	1,500	907,500
		第 2 期	-	581,000	25,000	1,500	607,500
		計	300,000	1,162,000	50,000	3,000	1,515,000
	第 2 年度	第 1 期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
		第 2 期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
		計	-	1,462,000	50,000	3,000	1,515,000
9 月入学	初年度	入学時	300,000	581,000	25,000	1,500	907,500
		第 2 期	-	581,000	25,000	1,500	607,500
		計	300,000	1,162,000	50,000	3,000	1,515,000
	第 2 年度	第 1 期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
		第 2 期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
		計	-	1,462,000	50,000	3,000	1,515,000

博士後期課程

(単位:円)

入学時期	年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
				授業料	実験演習料	学生健康増進 互助会費	
4 月入学	初年度	入学時	200,000	353,500	25,000	1,500	580,000
		第 2 期	-	353,500	25,000	1,500	380,000
		計	200,000	707,000	50,000	3,000	960,000
	第 2 年度	第 1 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		第 2 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		計	-	907,000	50,000	3,000	960,000
	第 3 年度	第 1 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		第 2 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		計	-	907,000	50,000	3,000	960,000
9 月入学	初年度	入学時	200,000	353,500	25,000	1,500	580,000
		第 2 期	-	353,500	25,000	1,500	380,000
		計	200,000	707,000	50,000	3,000	960,000
	第 2 年度	第 1 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		第 2 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		計	-	907,000	50,000	3,000	960,000
	第 3 年度	第 1 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		第 2 期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
		計	-	907,000	50,000	3,000	960,000

〈注意〉

一度提出した書類および納入した入学金（登録料）、学費・諸会費（第 1 期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（第 1 期分）のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

本大学、本大学大学院または専攻科の在学、卒業、修了又は退学者が入学する場合、入学金が免除されます。

詳細については当研究科アドミッションズ・オフィスにお問い合わせください。

※他大学出身の修士課程正規入学者は、最終学年・最終学期に校友会費 40,000 円が必要となります（卒業後 10 年分）。本学学部出身者・編入学・一貫制博士課程・博士後期課程・ダブルディグリー・科目等履修生・非正規生は納入の対象外となります。

※修士課程は、教育訓練給付制度の対象です。詳細はハローワーク HP をご確認ください。

外国学生（外国籍）の方へ

在留資格についての Web サイト：<https://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>

■在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格の場合は、上記のような留学生対象の各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の（１）～（６）をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書交付申請など必要な在留手続を行ってください。在留手続を行うには第 1 次入学手続き（入学手続料納入および入学手続書類の提出）と第 2 次 Web 入学手続きを完了していることが必要です。手続きに「入学許可書」が必要な場合は、第 2 次入学手続きが完了した後、希望者に対し当研究科で発行します。

（１）「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格の Web サイト内、「入学前の方へ」の「[「留学」の在留資格を持っている方](#)」を参照してください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(4) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

(3) 上記以外の在留資格を有している場合

現在の在留資格に該当する活動が終わる場合は、「留学」の在留資格に変更が必要です。「家族滞在」など、状態が変わらない場合は必要に応じて在留資格を変更してください。手続に関する詳細は、早稲田大学留学センターの在留資格の Web サイト内、「入学前の方へ」の「[「留学」以外の在留資格を持っている方](#)」を参照してください。

【注】在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

(4) 在留資格を有していない場合

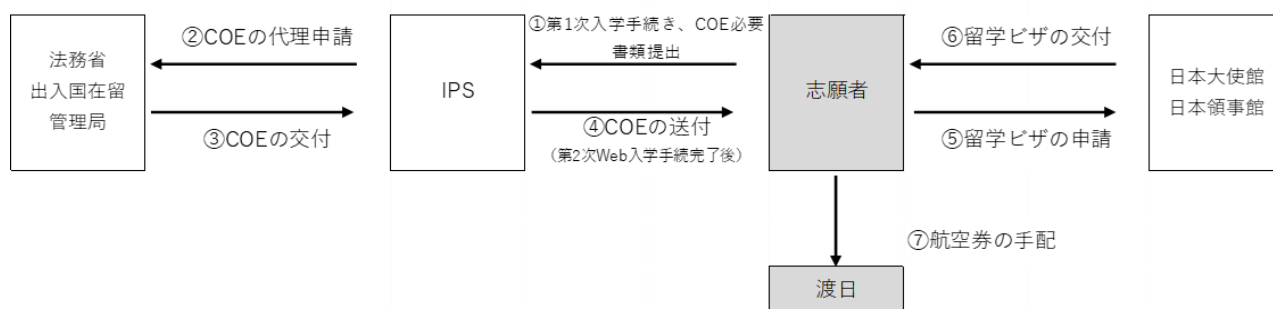
在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続きを完了した国外居住の外国籍学生に限り、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。代理申請後、COEが出入国在留管理局より交付され当研究科に送付されましたら、当研究科から申請者に送ります。COEを受け取った後は、国籍を有する国または居住国の日本大使館もしくは領事館にパスポートとともに持参し、「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの有効期間は3か月です。ビザを取得した後、COEの有効期間内に渡日する必要があります。出入国在留管理局での審査には2か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

【注】代理申請は、第1次入学手続き(入学手数料納入および入学手続書類の提出)を完了しないと行いません。希望者は、すみやかに第1次入学手続きを済ませ、早急に手続を行ってください。

【注】代理申請に必要な書類と送付先については、合格者にお知らせします。

【留学ビザ取得までの流れ (①→⑦)】

- ※ 留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。
- ※ 当研究科にCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館・領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。
- ※ COE発行後3か月以内に学生ビザを申請する必要があります。(⑤)



(5) 在留資格の取得、変更(自己申請)

〔査証免除/短期滞在の資格で入国している場合〕

査証免除/短期滞在(観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしなない場合)で入国した場合、原則として一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。しかしながら、入学試験日が年度末(2月末、3月)でCOEの交付が遅く、新学期前に帰国が難しい場合は、COEが発行されたら、出入国在留管理局で資格変更許可申請を行うことは可能です。ただし、例外的な申請となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、本学は一切責任を負いません。

【注】30日以内の短期滞在の資格の場合、日本での資格変更はできませんので、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。

(6) その他注意事項

- ・早稲田大学大学院情報生産システム研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、至急当研究科事務所にお知らせください。また、他大学にも合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、COEは交付されません。
- ・日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、本学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学大学院情報生産システム研究科(E-mail: gakumu-ips@list.waseda.jp)へ問い合わせてください。

■入国前結核スクリーニング」制度について

対象：フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国の国籍を有する志願者

1. 概要

対象者は在留資格認定証明書（以下、COE）の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出が追加で求められます。

制度の詳細については、以下の厚生労働省の以下の Web サイトをご確認ください。

[◇入国前結核スクリーニングの実施について Japan Pre-Entry Tuberculosis Screening \(JPETS\)](#)

[◇入国前結核スクリーニング特設サイト](#)

2. 対象者

原則以下の要件に全て合致する者

- ・3 か月を超えて日本に滞在する予定の新規入国者（再入国を含む）。
- ・厚生労働省が指定するスクリーニング対象国※の国籍保有者

例外

- ・スクリーニング対象国の国籍保有者であるが、COE 申請時の居住地がスクリーニング対象国以外である者（居住国の滞在許可証等により、現在の居住地が対象国以外の国又は地域であることを証明できる場合に限る）
- ・大使館推薦による国費留学生
- ・スクリーニング対象国の国籍と合わせて日本国籍を持つ者（二重国籍者）

※対象国と導入スケジュールは以下の通り。

スクリーニング対象国 「結核非発病証明書」提出義務付け

フィリピン・ネパール 2025/6/23～予定

ベトナム 2025/9/1～予定

インドネシア・ミャンマー・中国 調整中

3. 必要手続き

- ・自国内の「[指定健診医療機関](#)」にて結核スクリーニングを受診し、「結核非発病証明書」を受領してください。入手した「結核非発病証明書」は、他の COE 申請書類と合わせて所定の提出期限・方法でご提出ください。
- ・必ず 10/1 以降 ～ COE 申請書類提出までの期間に受診してください。

※ 受診日が早すぎると、COE 申請時に有効期限が切れてしまう恐れがあるため、必ず上記指定期間内に受診してください（「結核非発病証明書」の有効期限は 180 日です）。

※ 受診日が遅すぎると、発行に時間を要し、書類提出期限までに証明書が取得できない恐れがあるため、余裕を持って受診してください。

4. その他

- ・万一結核を発病していることが判明し、「結核非発病証明書」が用意できない場合は、速やかに入学予定の学部/研究科にご連絡ください。
- ・結核発病によって「結核非発病証明書」が取得できず、来日できない場合は、特別休学措置（学費等の負担が無い休学措置）を受けることができます。
- ・結核を発病し日本に入国できないことが入学直前に判明した場合、その後の計画に大きな影響を及ぼすことになります。そのため、COE 申請用とは別に、早い段階で一度結核の検査を受診して、ご自身が発病者でないことを確認してから出願のステップに進むことを強くお勧めします。

8

奨学金制度

早稲田大学には、日本人学生に対して、本学独自の給付奨学金である「学内奨学金」をはじめとし、民間奨学金および、貸与奨学金である日本学生支援機構奨学金（第一種、第二種）など、充実した奨学金制度があります。2026 年度の奨学金制度の詳細につきましては、入学手続完了者に配布する「[Challenge 奨学金情報](#)」をご参照ください。

外国人留学生に対しての奨学金も充実しています。学業成績に応じて年間授業料の 50% を減免する私費外国人留学生授業料減免奨学金や、入学金相当分を支給する私費外国人留学生奨学金他、奨学金財団による奨学金など、ほとんどが返還免除の給付奨学金です。詳細につきましては、奨学課ホームページおよび留学センターホームページをご参照ください。

奨学課ホームページ <https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

留学センターホームページ <https://www.waseda.jp/inst/cie/life/aid/>

※上記奨学金は入学金および第 1 期学費を完納した人が対象です。

奨学金制度の他に、国のローン制度や民間金融機関との本学提携学費ローン制度があります。

詳しくは、本学奨学課 Web サイトの該当ページ（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/applying-loans/programs/>）をご確認ください。

その他特記事項

1. 個人情報の取り扱い

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

2. 性別情報・GS (Gender & Sexuality) の共通理念について

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち当研究科事務所までご連絡ください。性別情報が可否に影響を及ぼすことは一切ありません。 <https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

3. 受験・就学上の配慮

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。

4. 免責事項

本学では、入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ②試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立ていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。

◆不可抗力による事故等について

台風、自身、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

5. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づき、安全保障輸出管理規程および運用細則を定め、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和および安全の維持を妨げることが無いよう、技術の提供や研究・学生の受入れに際し、審査を実施しています。審査の結果、規制事項に該当すると判断された場合には、希望する教育・研究活動に制限がかかる場合があります。

6. 感染症対策に関する注意事項

- ・基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。

早稲田大学大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所内 アドミッションズオフィス

Admissions Office

Graduate School of Information, Production and Systems, Waseda University

2-7 Hibikino, Wakamatsu-ku, Kitakyushu-shi, Fukuoka, 808-0135 Japan

TEL:093-692-5017

E-mail koho-ips@list.waseda.jp

お問合せ

お問い合わせの前に、下記リンクより「よくある質問」をご確認ください。

<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/faq/>

「よくある質問」に記載されていない内容については、下記リンク先「お問い合わせフォーム」よりお問合せください。

お問い合わせフォーム: <https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/faq/>



IPS ウェブサイト



よくある質問



お問い合わせフォーム